

訂正箇所

特記仕様書
10頁
13-1 工事用
道路の指定

正誤区分

13. 工事用道路に関する事項

13-1 工事用道路の指定

共通仕様書1-22-1の規定に基づき指定する工事用道路は、「位置図」に示すとおりとし、その路線名、区間、巾員及び延長等は、下表のとおりとする。

番号	路線名又は場所	片側車線 巾員	延長	路面	用地	使用開始時期	施工者	備考
①	町道多古1270号線	3.0 m	0.3 km	舗装	無償	—	—	既設
②	一級町道水戸千田線 町道01-008号線	4.0 m	2.1 km	舗装	無償	—	—	既設
③	県道横芝下総線	3.0 m	4.9 km	舗装	無償	—	—	既設
④	町道1BL-0132号線 [Red box]	5.5 m (全巾)	0.9 km	舗装	無償	—	—	既設
⑤	町道02-024号線	4.5 m (全巾)	0.6 km	舗装	無償	—	—	既設
⑥	町道1BL-0129号線	5.0 m (全巾)	0.9 km	舗装	無償	—	—	既設
⑦	町道1BL-0135号線	4.0 m (全巾)	0.1 km	舗装	無償	—	—	既設
⑧-1 ⑧-2	町道1BL-0132号線	5.5 m (全巾)	0.8 km 0.3 km	舗装	無償	—	—	既設
⑨	県道八日市場八街線	3.0 m	0.4 km	舗装	無償	—	—	既設
⑩	町道A185号線	4.0 m (全巾)	0.4 km	舗装	無償	—	—	既設
進 No. 1	町道1BL-0135号線 進入路	4.0 m (全巾)	0.3 km	舗装	無償	—	本工事	新設
進 No. 2	町道1BL-0132号線 進入路	4.0 m (全巾)	0.1 km	舗装	無償	—	本工事	新設
進 No. 3	町道1BL-0132号線 進入路	4.0 m (全巾)	0.1 km	舗装	無償	—	本工事	新設
迂 No. 1	町道多古1270号線	3.0 m	0.2 km	舗装	無償	—	本工事	新設
迂 No. 2	一級町道水戸千田線	4.0 m	0.3 km	舗装	無償	—	本工事	新設
迂 No. 3	町道1BL-0132号線	5.5 m (全巾)	0.2 km	舗装	無償	—	本工事	新設
迂 No. 4	ゴルフ場内道路	5.5 m (全巾)	0.1 km	舗装	無償	—	本工事	新設

13. 工事用道路に関する事項

13-1 工事用道路の指定

共通仕様書1-22-1の規定に基づき指定する工事用道路は、「位置図」に示すとおりとし、その路線名、区間、巾員及び延長等は、下表のとおりとする。

番号	路線名又は場所	片側車線 巾員	延長	路面	用地	使用開始時期	施工者	備考
①	町道多古1270号線	3.0 m	0.3 km	舗装	無償	—	—	既設
②	一級町道水戸千田線 町道01-008号線	4.0 m	2.1 km	舗装	無償	—	—	既設
③	県道横芝下総線	3.0 m	4.9 km	舗装	無償	—	—	既設
④	町道1BL-0132号線 [Red box]	5.5 m (全巾)	0.9 km	舗装	無償	—	—	既設
⑤	町道02-024号線	4.5 m (全巾)	0.6 km	舗装	無償	—	—	既設
⑥	町道1BL-0129号線	5.0 m (全巾)	0.9 km	舗装	無償	—	—	既設
⑦	町道1BL-0135号線	4.0 m (全巾)	0.1 km	舗装	無償	—	—	既設
⑧-1 ⑧-2	町道1BL-0132号線	5.5 m (全巾)	0.8 km 0.3 km	舗装	無償	—	—	既設
⑨	県道八日市場八街線	3.0 m	0.4 km	舗装	無償	—	—	既設
⑩	町道A185号線	4.0 m (全巾)	0.4 km	舗装	無償	—	—	既設
進 No. 1	町道1BL-0135号線 進入路	4.0 m (全巾)	0.3 km	舗装	無償	—	本工事	新設
進 No. 2	町道1BL-0132号線 進入路	4.0 m (全巾)	0.1 km	舗装	無償	—	本工事	新設
進 No. 3	町道1BL-0132号線 進入路	4.0 m (全巾)	0.1 km	舗装	無償	—	本工事	新設
迂 No. 1	町道多古1270号線	3.0 m	0.2 km	舗装	無償	—	本工事	新設
迂 No. 2	一級町道水戸千田線	4.0 m	0.3 km	舗装	無償	—	本工事	新設
迂 No. 3	町道1BL-0132号線	5.5 m (全巾)	0.2 km	舗装	無償	—	本工事	新設
迂 No. 4	ゴルフ場内道路	5.5 m (全巾)	0.1 km	舗装	無償	—	本工事	新設

※番号④について、土運搬に伴うダンプの走行は不可とする。(資機材車の走行は可とする。)

訂正箇所		正誤区分															
特記仕様書 18頁 17-2 建設副 産物の活用等																	
誤		<p>17-2 建設副産物の活用等</p> <p>(1) 共通仕様書1-28の規定に基づき指定する建設副産物の取扱いは、下表のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設副産物の種類</th><th>発生場所</th><th>数量</th><th>活用方法等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート塊（無筋）</td><td>既設道路、迂回道路等 無筋コンクリート構造物取壊し</td><td>約210m³</td><td>再資源化施設</td></tr> <tr> <td>コンクリート塊（有筋）</td><td>既設道路、迂回道路等 鉄筋コンクリート構造物取壊し</td><td>約120m³</td><td>再資源化施設</td></tr> </tbody> </table>				建設副産物の種類	発生場所	数量	活用方法等	コンクリート塊（無筋）	既設道路、迂回道路等 無筋コンクリート構造物取壊し	約210m ³	再資源化施設	コンクリート塊（有筋）	既設道路、迂回道路等 鉄筋コンクリート構造物取壊し	約120m ³	再資源化施設
建設副産物の種類	発生場所	数量	活用方法等														
コンクリート塊（無筋）	既設道路、迂回道路等 無筋コンクリート構造物取壊し	約210m ³	再資源化施設														
コンクリート塊（有筋）	既設道路、迂回道路等 鉄筋コンクリート構造物取壊し	約120m ³	再資源化施設														
正		<p>17-2 建設副産物の活用等</p> <p>(1) 共通仕様書1-28の規定に基づき指定する建設副産物の取扱いは、下表のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設副産物の種類</th><th>発生場所</th><th>数量</th><th>活用方法等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート塊（無筋）</td><td>既設道路、迂回道路等 コンクリート 無筋コンクリート構造物取壊し</td><td>約1,350m³</td><td>再資源化施設</td></tr> <tr> <td>コンクリート塊（有筋）</td><td>既設道路、迂回道路等 鉄筋コンクリート構造物取壊し</td><td>約120m³</td><td>再資源化施設</td></tr> </tbody> </table>				建設副産物の種類	発生場所	数量	活用方法等	コンクリート塊（無筋）	既設道路、迂回道路等 コンクリート 無筋コンクリート構造物取壊し	約1,350m ³	再資源化施設	コンクリート塊（有筋）	既設道路、迂回道路等 鉄筋コンクリート構造物取壊し	約120m ³	再資源化施設
建設副産物の種類	発生場所	数量	活用方法等														
コンクリート塊（無筋）	既設道路、迂回道路等 コンクリート 無筋コンクリート構造物取壊し	約1,350m ³	再資源化施設														
コンクリート塊（有筋）	既設道路、迂回道路等 鉄筋コンクリート構造物取壊し	約120m ³	再資源化施設														

訂正箇所		正誤区分													
特記仕様書 23頁 21-2-2 盛土工															
		<p>21-2-2 盛土工</p> <p>(1) 種別</p> <p>共通仕様書2-7-1 定義に規定する単価表の項目の種別は下記のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>作業内容</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛土工 盛土工 B</td><td>1) 他工事から搬入された材料を使用して、STA. 111+40付近～STA. 113+40付近の本線部の路床部における敷均し、締固め 2) 含水比の調整</td><td></td></tr> <tr> <td>盛土工 盛土工 C 1</td><td>1) 上部路床の敷均し、締固め (載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を利用し、安定処理工 A 2で攪拌混合された材料を使用する。) 2) 含水比の調整</td><td></td></tr> <tr> <td>盛土工 盛土工 C 2</td><td>1) 下部路床の敷均し、締固め (■載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を使用する。) 2) 含水比の調整</td><td></td></tr> </tbody> </table>	単価表の項目	作業内容	備考	盛土工 盛土工 B	1) 他工事から搬入された材料を使用して、STA. 111+40付近～STA. 113+40付近の本線部の路床部における敷均し、締固め 2) 含水比の調整		盛土工 盛土工 C 1	1) 上部路床の敷均し、締固め (載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を利用し、安定処理工 A 2で攪拌混合された材料を使用する。) 2) 含水比の調整		盛土工 盛土工 C 2	1) 下部路床の敷均し、締固め (■ 載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を使用する。) 2) 含水比の調整		
単価表の項目	作業内容	備考													
盛土工 盛土工 B	1) 他工事から搬入された材料を使用して、STA. 111+40付近～STA. 113+40付近の本線部の路床部における敷均し、締固め 2) 含水比の調整														
盛土工 盛土工 C 1	1) 上部路床の敷均し、締固め (載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を利用し、安定処理工 A 2で攪拌混合された材料を使用する。) 2) 含水比の調整														
盛土工 盛土工 C 2	1) 下部路床の敷均し、締固め (■ 載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を使用する。) 2) 含水比の調整														
		<p>21-2-2 盛土工</p> <p>(1) 種別</p> <p>共通仕様書2-7-1 定義に規定する単価表の項目の種別は下記のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>作業内容</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛土工 盛土工 B</td><td>1) 他工事から搬入された材料を使用して、STA. 110+40付近～STA. 113+40付近の本線部の路床部における敷均し、締固め 2) 含水比の調整 3) 他工事から搬入された材料の土質区分は、土砂B相当とする。</td><td></td></tr> <tr> <td>盛土工 盛土工 C 1</td><td>1) 上部路床の敷均し、締固め (載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を利用し、安定処理工 A 2で攪拌混合された材料を使用する。) 2) 含水比の調整</td><td></td></tr> <tr> <td>盛土工 盛土工 C 2</td><td>1) 下部路床の敷均し、締固め (■載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を使用する。) 2) 含水比の調整</td><td></td></tr> </tbody> </table>	単価表の項目	作業内容	備考	盛土工 盛土工 B	1) 他工事から搬入された材料を使用して、STA. 110+40付近～STA. 113+40付近の本線部の路床部における敷均し、締固め 2) 含水比の調整 3) 他工事から搬入された材料の土質区分は、土砂B相当とする。		盛土工 盛土工 C 1	1) 上部路床の敷均し、締固め (載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を利用し、安定処理工 A 2で攪拌混合された材料を使用する。) 2) 含水比の調整		盛土工 盛土工 C 2	1) 下部路床の敷均し、締固め (■ 載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を使用する。) 2) 含水比の調整		
単価表の項目	作業内容	備考													
盛土工 盛土工 B	1) 他工事から搬入された材料を使用して、STA. 110+40付近～STA. 113+40付近の本線部の路床部における敷均し、締固め 2) 含水比の調整 3) 他工事から搬入された材料の土質区分は、土砂B相当とする。														
盛土工 盛土工 C 1	1) 上部路床の敷均し、締固め (載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を利用し、安定処理工 A 2で攪拌混合された材料を使用する。) 2) 含水比の調整														
盛土工 盛土工 C 2	1) 下部路床の敷均し、締固め (■ 載荷盛土取除き工 Aで発生した現地発生土を使用する。) 2) 含水比の調整														

訂正箇所		正誤区分		
特記仕様書 38頁 39頁 21-9-2 吹付けコンクリート工		21-9-2 吹付けコンクリート工 (1) 吹付けコンクリート工の種別 共通仕様書12-5-3に規定する単価表の項目の種別に下記を追加する。		
誤		単価表の項目	区分内容	吹付けコンクリートの材令28日強度(N/mm ²)
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートA (t = 20cm) D III a	支保バターンD III a - Kの上下半に使用するもの	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートA (t = 20cm) D III a - A	支保バターンD III a - A - Kの上下半に使用するもの	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートC (t = 20cm) D III a	支保バターンD III a - Kのインパートに使用するもの 鏡面の吹付けコンクリートの撤去、処分を含む。	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートC (t = 20cm) D III a - A	支保バターンD III a - A - Kのインパートに使用するもの 鏡面の吹付けコンクリートの撤去、処分を含む。	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートD (t = 4cm) D III a - A	支保バターンD III a - A - Kの鏡面に使用するもの	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートD (t = 10cm) D III a - A	支保バターンD III a - A - Kの鏡面(注入式長尺鋼管先受工・注入式長尺鋼管鏡補強工)に使用するもの	3 6
正		21-9-2 吹付けコンクリート工 (1) 吹付けコンクリート工の種別 共通仕様書12-5-3に規定する単価表の項目の種別に下記を追加する。		
		単価表の項目	区分内容	吹付けコンクリートの材令28日強度(N/mm ²)
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートA (t = 20cm) D III a	支保バターンD III a - Kの上下半に使用するもの	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートA (t = 20cm) D III a - A	支保バターンD III a - A - Kの上下半に使用するもの	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートC (t = 20cm) D III a	支保バターンD III a - Kのインパートに使用するもの	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートC (t = 20cm) D III a - A	支保バターンD III a - A - Kのインパートに使用するもの	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートD (t = 4cm) D III a - A	支保バターンD III a - A - Kの鏡面に使用するもの 鏡面の吹付けコンクリートの撤去、処分を含む。	3 6
		吹付けコンクリート工 吹付けコンクリートD (t = 10cm) D III a - A	支保バターンD III a - A - Kの鏡面(注入式長尺鋼管先受工・注入式長尺鋼管鏡補強工)に使用するもの 鏡面の吹付けコンクリートの撤去、処分を含む。	3 6

訂正箇所		正誤区分														
特記仕様書 44頁 21-11-1 路面標示工																
		<p>21-11-1 路面標示工</p> <p>(1) 種別</p> <p>共通仕様書16-4-2に規定する単価表の項目の種別を下記のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>路面標示の塗色</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面標示工 路面標示標準型A1</td> <td>白色</td> <td>千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。</td> </tr> <tr> <td>路面標示工 路面標示標準型A2</td> <td>白色</td> <td>千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅20cmを施工するものをいう。</td> </tr> <tr> <td>路面標示工 路面標示標準型C1</td> <td>白色</td> <td>千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路に停止線、導流標示等を施工するものをいう。</td> </tr> </tbody> </table>			単価表の項目	路面標示の塗色	区分内容	路面標示工 路面標示標準型A1	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。	路面標示工 路面標示標準型A2	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅20cmを施工するものをいう。	路面標示工 路面標示標準型C1	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路に停止線、導流標示等を施工するものをいう。
単価表の項目	路面標示の塗色	区分内容														
路面標示工 路面標示標準型A1	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。														
路面標示工 路面標示標準型A2	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅20cmを施工するものをいう。														
路面標示工 路面標示標準型C1	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路に停止線、導流標示等を施工するものをいう。														
	誤															
	正	<p>21-11-1 路面標示工</p> <p>(1) 種別</p> <p>共通仕様書16-4-2に規定する単価表の項目の種別を下記のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>路面標示の塗色</th> <th>区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面標示工 路面標示標準型A1</td> <td>白色</td> <td>千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。</td> </tr> <tr> <td>路面標示工 路面標示標準型A2</td> <td>黄色</td> <td>千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。</td> </tr> <tr> <td>路面標示工 路面標示標準型C1</td> <td>白色</td> <td>千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路に停止線、導流標示等を施工するものをいう。</td> </tr> </tbody> </table>			単価表の項目	路面標示の塗色	区分内容	路面標示工 路面標示標準型A1	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。	路面標示工 路面標示標準型A2	黄色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。	路面標示工 路面標示標準型C1	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路に停止線、導流標示等を施工するものをいう。
単価表の項目	路面標示の塗色	区分内容														
路面標示工 路面標示標準型A1	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。														
路面標示工 路面標示標準型A2	黄色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路、迂回道路に標示幅15cmを施工するものをいう。														
路面標示工 路面標示標準型C1	白色	千葉県土木工事共通仕様書(令和2年度)溶融式の規定に適合する材料を使用して、付替道路に停止線、導流標示等を施工するものをいう。														

訂正箇所	正誤区分			
特記仕様書 50頁 21-14 地盤 改良工	誤	<table border="1"><tr><td>地盤改良工 取除き工</td><td>地盤改良工施工後に盛上り土を削り取り、表層排水工施工の支障とならない路体部へ運搬、敷均し、締固めするもの 1) サンドマットの敷均し 2) 深層混合処理（粉体噴射搅拌） 3) サンドマットの掘削、積込み、本線路体部への運搬、敷均し、締固め (サンドマットの打設箇所までの掘削、積込み、運搬及び本線路体部での敷均し、締固めは道路掘削に含む。)</td></tr></table>	地盤改良工 取除き工	地盤改良工施工後に盛上り土を削り取り、表層排水工施工の支障とならない路体部へ運搬、敷均し、締固めするもの 1) サンドマットの敷均し 2) 深層混合処理（粉体噴射搅拌） 3) サンドマットの掘削、積込み、本線路体部への運搬、敷均し、締固め (サンドマットの打設箇所までの掘削、積込み、運搬及び本線路体部での敷均し、締固めは道路掘削に含む。)
地盤改良工 取除き工	地盤改良工施工後に盛上り土を削り取り、表層排水工施工の支障とならない路体部へ運搬、敷均し、締固めするもの 1) サンドマットの敷均し 2) 深層混合処理（粉体噴射搅拌） 3) サンドマットの掘削、積込み、本線路体部への運搬、敷均し、締固め (サンドマットの打設箇所までの掘削、積込み、運搬及び本線路体部での敷均し、締固めは道路掘削に含む。)			
	正	<table border="1"><tr><td>地盤改良工 取除き工</td><td>地盤改良工施工後に盛上り土を削り取り、表層排水工施工の支障とならない路体部へ運搬、敷均し、締固めするもの</td></tr></table>	地盤改良工 取除き工	地盤改良工施工後に盛上り土を削り取り、表層排水工施工の支障とならない路体部へ運搬、敷均し、締固めするもの
地盤改良工 取除き工	地盤改良工施工後に盛上り土を削り取り、表層排水工施工の支障とならない路体部へ運搬、敷均し、締固めするもの			

訂正箇所

設計図
(本線)
4/89頁
平面図(1)

平面図 (1) S=1:2500

誤

平面図 (1) S=1:2500

正

訂正箇所

設計図
(附帯工)
119/349頁
用・排水工詳
細図(14)

正誤区分

119 / 349

10.0m当たり

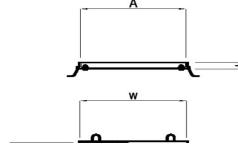
寸法表					摘要
)-0.70 D. 80 (F)	Dc [^] (GL)-0.70 -0.70-0.90 (F)	Dc [^] (GL)-0.80 -0.80-0.80 (F)	Dc [^] (GL)-0.80 -0.80-0.90 (F)	Dc [^] (GL)-0.90 -0.90-1.00 (F)	
76	1.96	1.66	1.92	2.75	
59	0.66	0.62	0.70	0.82	
16	5.88	5.34	6.14	7.20	
22	0.22	0.25	0.25	0.29	
-	-	-	-	-	T25用 蓋参考重量 24kg/枚
-	-	-	-	-	T25用 蓋参考重量 37kg/枚
-	1	-	-	-	T25用 蓋参考重量 53kg/枚
-	-	1	1	-	T25用 蓋参考重量 74kg/枚
-	-	-	-	1	T25用 蓋参考重量 90kg/枚

誤

) S=1:50
. 80-0.80 (F)

寸法表	項目	A	B	t	摘要
グレーチング蓋 500用	600	600	50		
600用	700	700	60		
700用	800	800	65		
800用	900	900	75		
900用	1000	1000	75		

グレーチング (A × B × t)

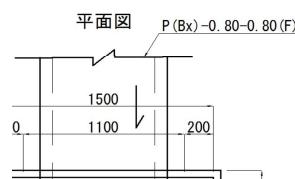


正

1箇所当たり

寸法表							摘要
0.60 70 (F)	Dc [^] (GL)-0.60 -0.60-0.80 (F)	Dc [^] (GL)-0.70 -0.70-0.80 (F)	Dc [^] (GL)-0.70 -0.70-0.90 (F)	Dc [^] (GL)-0.80 -0.80-0.80 (F)	Dc [^] (GL)-0.80 -0.80-0.90 (F)	Dc [^] (GL)-0.90 -0.90-1.00 (F)	
1.30	1.76	1.96	1.66	1.92	2.75		
0.39	0.59	0.66	0.62	0.70	0.82		
4.54	5.16	5.88	5.34	6.14	7.20		
0.15	0.22	0.22	0.25	0.25	0.29		
-	-	-	-	-	-		T25用 蓋参考重量 24kg/枚
1	-	-	-	-	-		T25用 蓋参考重量 37kg/枚
-	1	1	-	-	-		T25用 蓋参考重量 53kg/枚
-	-	-	1	1	-		T25用 蓋参考重量 74kg/枚
-	-	-	-	-	1		T25用 蓋参考重量 90kg/枚

. 10-1.10-1.30 (F) S=1:50



寸法表	項目	A	B	t	摘要
グレーチング蓋 500用	600	600	50		
600用	700	700	60		
700用	800	800	65		
800用	900	900	75		
900用	1000	1000	75		

グレーチング (A × B × t)

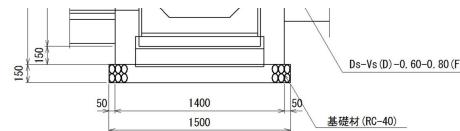
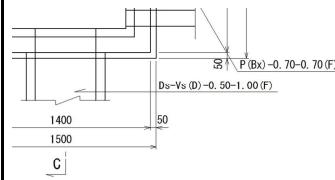


正誤区分

訂正箇所

設計図
(附帯工)
120/349頁
用・排水工詳
細図(15)

誤

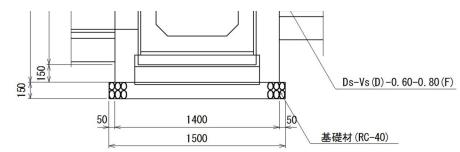
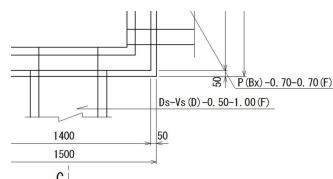


寸法表	
種別	項目 L2

材料表

名 称	規格・寸法	単位	数 量	1箇所当り 摘要
構造物掘削	普通部	m ³	6.80	
コンクリート	C1-1	m ³	1.24	
型わく	D	m ²	10.97	
基礎材	RC-40	m ³	0.34	
グレーティング	1000×35×100	枚	3	T25用 蓋参考重量 180.2kg/枚
鉄筋	A	Kg	3.74	

正



寸法表	
種別	項目 L2

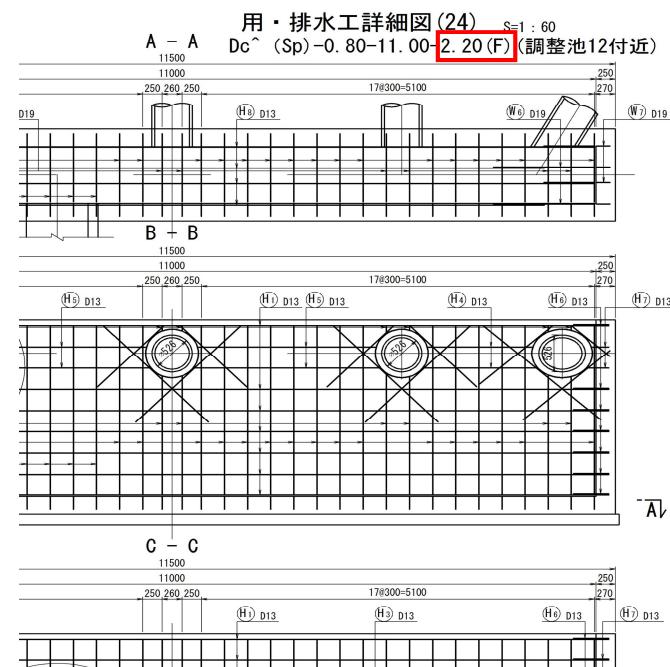
材料表

名 称	規格・寸法	単位	数 量	1箇所当り 摘要
構造物掘削	普通部	m ³	6.80	
コンクリート	C1-1	m ³	1.24	
型わく	D	m ²	10.97	
基礎材	RC-40	m ³	0.34	
グレーティング	1100×325×100	枚	3	T25用 蓋参考重量 180.2kg/枚
鉄筋	A	Kg	3.74	

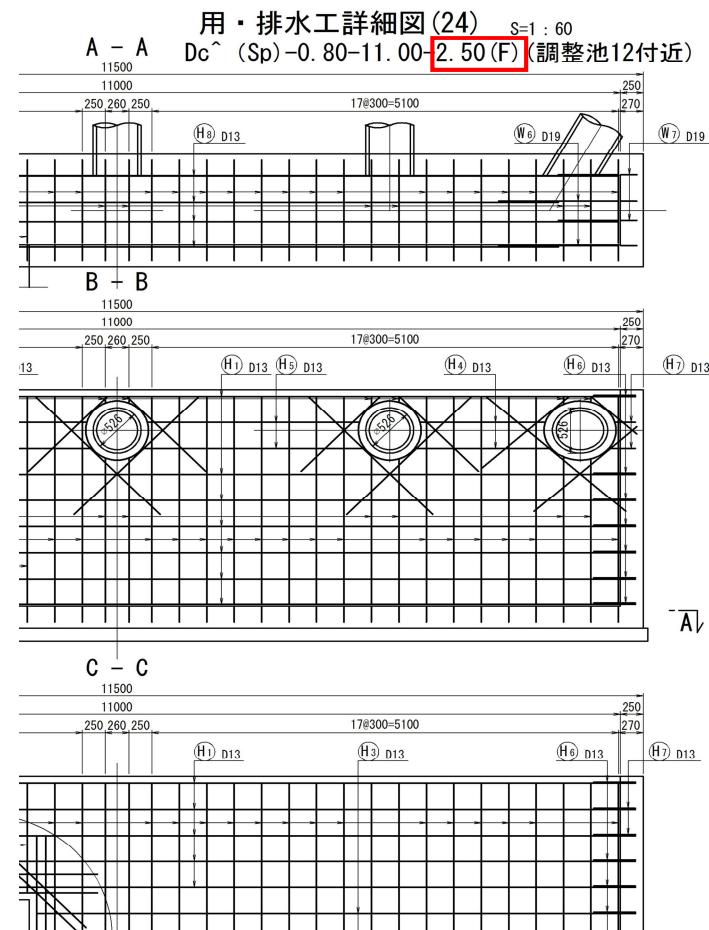
正誤区分

訂正箇所
設計図
(附帯工)
129/349頁
用・排水工詳
細図(24)

誤



正



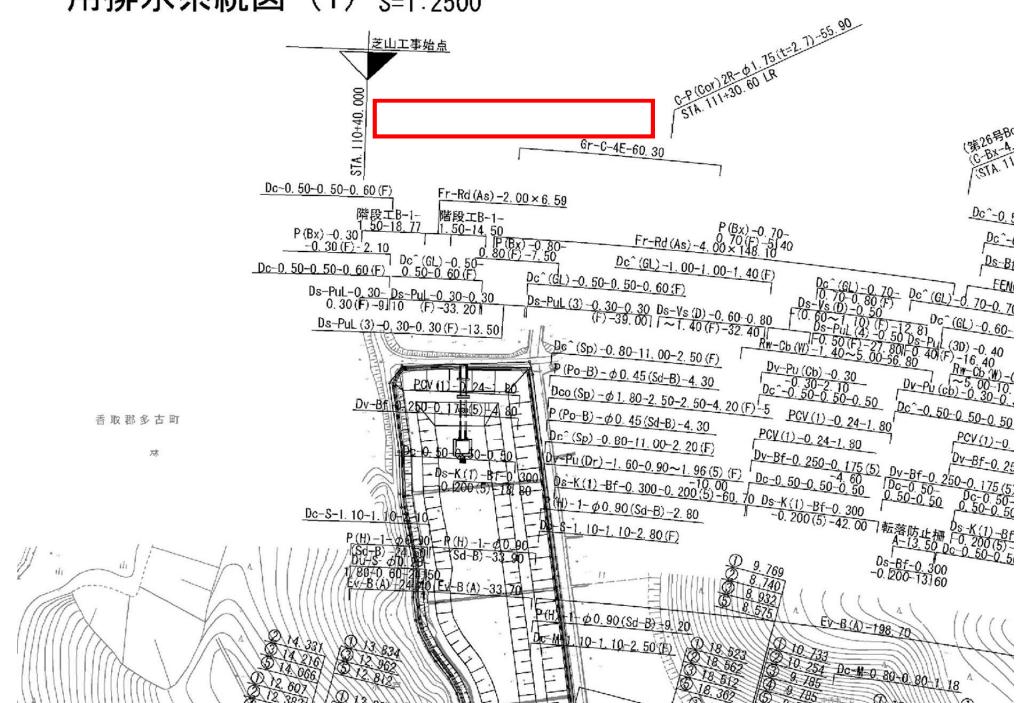
訂正箇所

設計図
(附帯工)
158/349頁
用排水系統図
(1)

正誤区分

用排水系統図 (1) S=1:2500

誤



正

用排水系統図 (1) S=1:2500

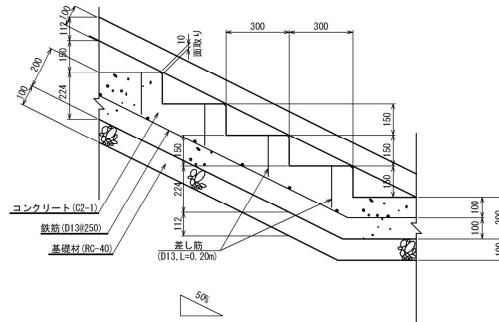
香取郡多古町
林

訂正箇所

設計図
(附帯工)
259/349頁
階段工詳細図
(2)



誤



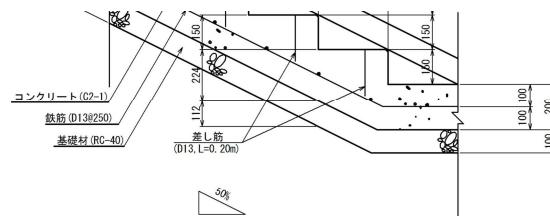
材料表

種別	規格	単位	数量	備考
コンクリート	C2-1	m ³	15.8	
型わく	D	m ²	38.7	
鉄筋	D13	kg	543	
基礎材	RC-40	m ³	6.4	

22.20m当たり

首都圏中央連絡自動車道 芝山工事	
図面の種類	STA. 111+60付近 (内回り) 階段工 詳細図 (2)
縮 尺	図示
設計会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所

正



材料表

種別	規格	単位	数量	備考
コンクリート	C2-1	m ³	15.8	
型わく	D	m ²	38.7	
鉄筋	D13	kg	543	
基礎材	RC-40	m ³	6.4	

30.40m当たり

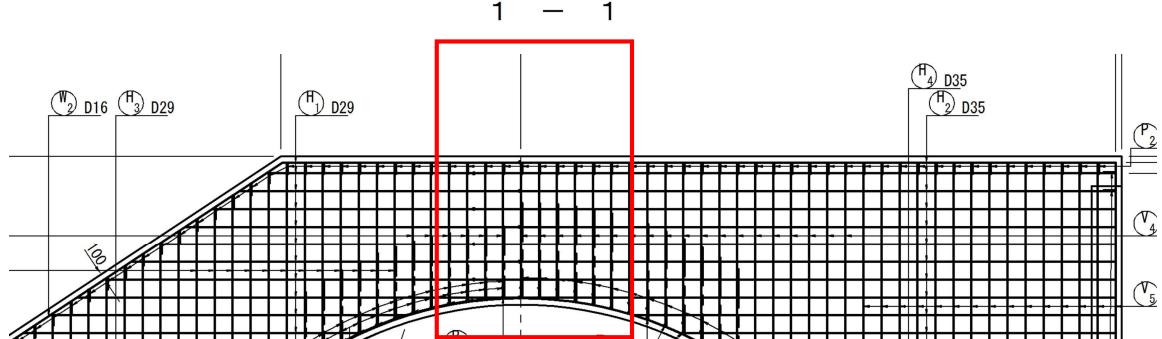
首都圏中央連絡自動車道 芝山工事	
図面の種類	STA. 111+60付近 (内回り) 階段工 詳細図 (2)
縮 尺	図示
設計会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所

首都圏中央連絡自動車道 芝山工事

訂正箇所

正誤区分

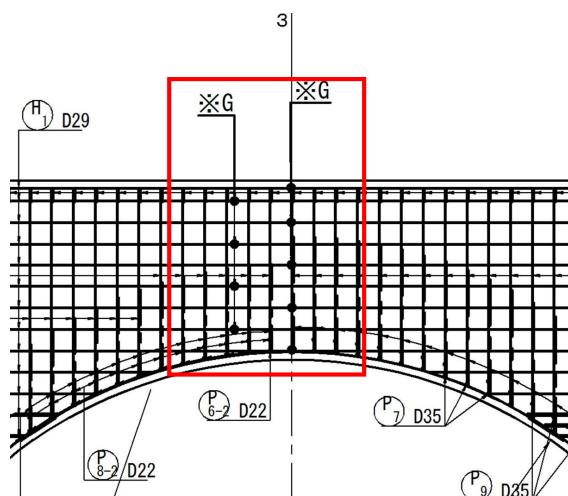
設計図
(トンネル工)
17/71頁
起点側坑門工
配筋図(1)



誤

首都圏中央連絡自動車道 芝山工事	
図面の種類	起点側坑門工配筋図(1)
縮尺	1:125
設計会社名	応用地質株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所

正



※ G●はガス圧接を示す

首都圏中央連絡自動車道 芝山工事	
図面の種類	起点側坑門工配筋図(1)
縮尺	1:125
設計会社名	応用地質株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所

訂正箇所

設計図
(トンネル工)
20/71頁
起点坑門工配筋図(4)

誤

H 1 13 - D29 × 5390			
番号	径	本数	L
1	D29	1	3970
2	"	1	3475
3	"	1	4691
4	"	1	4375
5	"	1	5591
6	"	1	5275
7	"	1	6491
8	"	1	6175
9	"	1	7391
10	"	1	5948
11	"	1	5625
12	"	1	5509
13	"	1	5502
平均		13	5386

H 2 31 - D35 × 6250			
番号	径	本数	L
1	D35	1	9941
2	"	1	10706
3	"	1	9941
4	"	1	10706
5	"	1	9941
6	"	1	10706
7	"	1	9941
8	"	1	10706
9	"	1	9941
10	"	1	8007
11	"	1	7234
12	"	1	6668
13	"	1	6212
14	"	1	5847
15	"	1	5553
16	"	1	5311
17	"	1	5111
18	"	1	4894
19	"	1	4609
20	"	1	4352
21	"	1	4119
22	"	1	3910
23	"	1	3724
24	"	1	3559
25	"	1	3417
26	"	1	3296
27	"	1	3197
28	"	1	3122
29	"	1	3071
30	"	1	3058
31	"	1	2740
平均		31	6243

正誤区分

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量
H 1	D29	5390	13	5.04	27.17	353
H 2	D35	6250	31	7.51	46.94	1455
H 3	D29	4040	18	5.04	20.36	360
..

鉄筋表

D16	1275	kg
D19	476	kg
D22	523	kg
D25	469	kg
D29	1674	kg
D35	6786	kg
D13	155	kg
計	11358	kg

※ ガス圧接 D29+D35 9ヶ所

正

H 1 4 - D29 × 5650 ※ 9 - D29 × 5270			
番号	径	本数	L
※ 1	D29	1	3970
※ 2	"	1	3475
※ 3	"	1	4691
※ 4	"	1	4375
※ 5	"	1	5591
※ 6	"	1	5275
※ 7	"	1	6491
※ 8	"	1	6175
※ 9	"	1	7391
10	"	1	5948
11	"	1	5625
12	"	1	5509
13	"	1	5502
平均		4	5646
※ 平均		9	5270

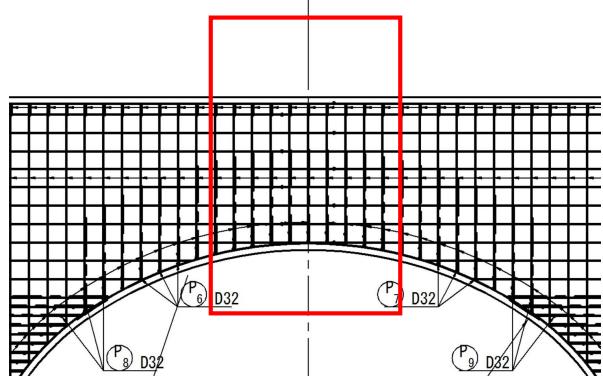
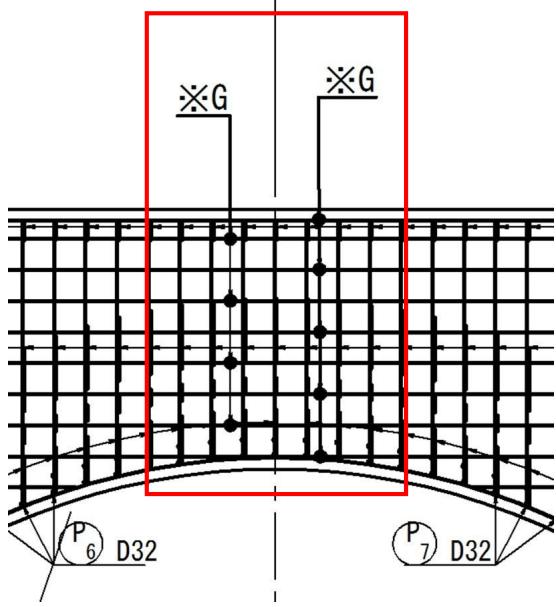
H 2 22 - D35 × 4600 ※ 9 - D35 × 10290			
番号	径	本数	L
※ 1	D35	1	9941
※ 2	"	1	10706
※ 3	"	1	9941
※ 4	"	1	10706
※ 5	"	1	9941
※ 6	"	1	10706
※ 7	"	1	9941
※ 8	"	1	10706
※ 9	"	1	9941
10	"	1	8007
11	"	1	7234
12	"	1	6668
13	"	1	6212
14	"	1	5847
15	"	1	5553
16	"	1	5311
17	"	1	5111
18	"	1	4894
19	"	1	4609
20	"	1	4352
21	"	1	4119
22	"	1	3910
23	"	1	3724
24	"	1	3559
25	"	1	3417
26	"	1	3296
27	"	1	3197
28	"	1	3122
29	"	1	3071
30	"	1	3058
31	"	1	2740
平均		22	4591
※ 平均		9	10281

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量
H 1	D29	5650	4	5.04	28.48	114
H 1	D29	5270	9	5.04	26.56	239
H 2	D35	4600	22	7.51	34.55	760
※ H 2	D35	10290	9	7.51	77.28	696
H 3	D29	4040	18	5.04	20.36	366

径別重量 接手箇所

A (K)	B	G
D35	6091	696
D29	1435	239
D25	469	-
D22	523	-
D19	476	-
D16	1275	-
D13	155	-
総重量	10424	935
		11359 kg <9>

※ は鉄筋 Bを示す (ガス圧接 D29+D35 9ヶ所)

訂正箇所		正誤区分												
設計図 (トンネル工) 26/71頁 終点側坑門工 配筋図(1)		<p>1 - 1</p>  <p>誤</p>												
		 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">首都圏中央連絡自動車道 芝山工事</td> </tr> <tr> <td>図面の種類</td><td>終点側坑門工配筋図(1)</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td><td>1:125</td> </tr> <tr> <td>設計会社名</td><td>応用地質株式会社</td> </tr> <tr> <td>施工会社名</td><td></td> </tr> <tr> <td>事務所名</td><td>東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所</td> </tr> </table>	首都圏中央連絡自動車道 芝山工事		図面の種類	終点側坑門工配筋図(1)	縮尺	1:125	設計会社名	応用地質株式会社	施工会社名		事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所
首都圏中央連絡自動車道 芝山工事														
図面の種類	終点側坑門工配筋図(1)													
縮尺	1:125													
設計会社名	応用地質株式会社													
施工会社名														
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所													
		 <p>正</p> <p>※ G ● はガス圧接を示す</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">首都圏中央連絡自動車道 芝山工事</td> </tr> <tr> <td>図面の種類</td><td>終点側坑門工配筋図(1)</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td><td>1:125</td> </tr> <tr> <td>設計会社名</td><td>応用地質株式会社</td> </tr> <tr> <td>施工会社名</td><td></td> </tr> <tr> <td>事務所名</td><td>東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所</td> </tr> </table>	首都圏中央連絡自動車道 芝山工事		図面の種類	終点側坑門工配筋図(1)	縮尺	1:125	設計会社名	応用地質株式会社	施工会社名		事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所
首都圏中央連絡自動車道 芝山工事														
図面の種類	終点側坑門工配筋図(1)													
縮尺	1:125													
設計会社名	応用地質株式会社													
施工会社名														
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所													

訂正箇所

設計図
(トンネル工)
28/71頁
終点側坑門工
配筋図(3)

正誤区分

H 1 31 - D32 × 6330				H 2 31 - D32 × 6310			
番号	径	本数	L	番号	径	本数	L
1	D32	1	11845	1	D32	1	11000
2	"	1	11000	2	"	1	11845
3	"	1	11845	3	"	1	11000
4	"	1	11000	4	"	1	11845
5	"	1	11743	5	"	1	10898
6	"	1	10748	6	"	1	11593
7	"	1	11443	7	"	1	10598
8	"	1	10448	8	"	1	11293
9	"	1	11143	9	"	1	10298
10	"	1	8655	10	"	1	8655
11	"	1	7732	11	"	1	7732
12	"	1	7016	12	"	1	7016
13	"	1	6410	13	"	1	6410
14	"	1	5895	14	"	1	5895
15	"	1	5451	15	"	1	5451
16	"	1	5059	16	"	1	5059
17	"	1	4709	17	"	1	4709
18	"	1	4394	18	"	1	4394
19	"	1	4109	19	"	1	4109
20	"	1	3852	20	"	1	3852
21	"	1	3619	21	"	1	3619
22	"	1	3410	22	"	1	3410
23	"	1	3224	23	"	1	3224
24	"	1	3059	24	"	1	3059
25	"	1	2917	25	"	1	2917
26	"	1	2796	26	"	1	2796
27	"	1	2697	27	"	1	2697
28	"	1	2622	28	"	1	2622
29	"	1	2571	29	"	1	2571
30	"	1	2558	30	"	1	2558
31	"	1	2240	31	"	1	2240
平均		31	6329	平均		31	6302

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量
H 1	D32	6330	31	6.23	39.44	1223
H 2	D32	6310	31	6.23	39.31	1219
H 3	D32	2280	38	6.23	14.20	540
...

D16	1011	kg
D19	448	kg
D25	956	kg
D32	10437	kg
D13	167	kg
計	13019	kg

※ ガス圧接 D32+D32 9ヶ所

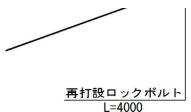
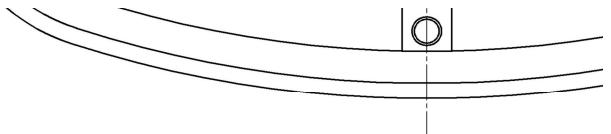
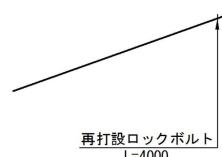
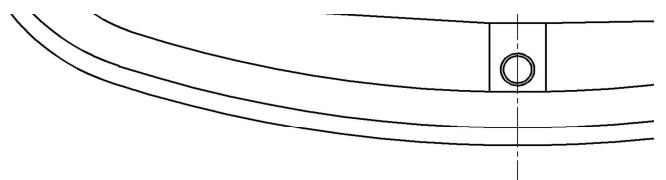
H 1 22 - D32 × 4320				H 2 31 - D32 × 4320			
※ 9 - D32 × 11250				※ 9 - D32 × 11150			
番号	径	本数	L	番号	径	本数	L
※ 1	D32	1	11845	※ 1	D32	1	11000
※ 2	"	1	11000	※ 2	"	1	11845
※ 3	"	1	11845	※ 3	"	1	11000
※ 4	"	1	11000	※ 4	"	1	11845
※ 5	"	1	11743	※ 5	"	1	10898
※ 6	"	1	10748	※ 6	"	1	11593
※ 7	"	1	11443	※ 7	"	1	10598
※ 8	"	1	10448	※ 8	"	1	11293
※ 9	"	1	11143	※ 9	"	1	10298
※ 10	"	1	8655	※ 10	"	1	8655
※ 11	"	1	7732	※ 11	"	1	7732
※ 12	"	1	7016	※ 12	"	1	7016
※ 13	"	1	6410	※ 13	"	1	6410
※ 14	"	1	5895	※ 14	"	1	5895
※ 15	"	1	5451	※ 15	"	1	5451
※ 16	"	1	5059	※ 16	"	1	5059
※ 17	"	1	4709	※ 17	"	1	4709
※ 18	"	1	4394	※ 18	"	1	4394
※ 19	"	1	4109	※ 19	"	1	4109
※ 20	"	1	3852	※ 20	"	1	3852
※ 21	"	1	3619	※ 21	"	1	3619
※ 22	"	1	3410	※ 22	"	1	3410
※ 23	"	1	3224	※ 23	"	1	3224
※ 24	"	1	3059	※ 24	"	1	3059
※ 25	"	1	2917	※ 25	"	1	2917
※ 26	"	1	2796	※ 26	"	1	2796
※ 27	"	1	2697	※ 27	"	1	2697
※ 28	"	1	2622	※ 28	"	1	2622
※ 29	"	1	2571	※ 29	"	1	2571
※ 30	"	1	2558	※ 30	"	1	2558
※ 31	"	1	2240	※ 31	"	1	2240
※ 平均		22	4319	※ 平均		9	11246
※ 平均		22	4319	※ 平均		9	11152

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量
H 1	D32	4320	22	6.23	26.91	592
H 1	D32	11250	9	6.23	70.09	631
H 2	D32	4320	22	6.23	26.91	592
H 2	D32	11160	9	6.23	69.53	626
H 3	D32	2280	38	6.23	14.20	540

径別重量		接手箇所	
A (K)	B	G	
D32	9179	1257	10436 kg <9>
D25	956	-	956 kg
D19	448	-	448 kg
D16	1011	-	1011 kg
D13	167	-	167 kg
総重量	11761	1257	13018 kg <9>

※ Bは鉄筋 Bを示す (ガス圧接 D32 9ヶ所)

訂正箇所	正誤区分																											
設計図 (トンネル工) 38/71頁 非常用施設箱 抜工図(4)	<p>再打設ロックボルト L=4000</p>   <p>誤</p> <p>数量表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支保パターン</th> <th>DIIIa-A-K</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト工B (L=4.0m)</td> <td>本 4.0m×16</td> <td>再打設ロックボルト</td> </tr> <tr> <td>コンクリートT3-4 控除</td> <td>m³ 1.416</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材料表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支保パターン</th> <th>DIIIa-A-K</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補強フレート PL-200×22×3151</td> <td>m² 13.327</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックボルト工B (L=4.0m)</td> <td>kg 148.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼アーチ支保工</td> <td>本 4.0m×4</td> <td>耐力170kN以上</td> </tr> <tr> <td>撤去工</td> <td>kg 632.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>継手板・底板</td> <td>kg 30.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	支保パターン	DIIIa-A-K	摘要	ロックボルト工B (L=4.0m)	本 4.0m×16	再打設ロックボルト	コンクリートT3-4 控除	m ³ 1.416		支保パターン	DIIIa-A-K	摘要	補強フレート PL-200×22×3151	m ² 13.327		ロックボルト工B (L=4.0m)	kg 148.6		鋼アーチ支保工	本 4.0m×4	耐力170kN以上	撤去工	kg 632.1		継手板・底板	kg 30.6	
支保パターン	DIIIa-A-K	摘要																										
ロックボルト工B (L=4.0m)	本 4.0m×16	再打設ロックボルト																										
コンクリートT3-4 控除	m ³ 1.416																											
支保パターン	DIIIa-A-K	摘要																										
補強フレート PL-200×22×3151	m ² 13.327																											
ロックボルト工B (L=4.0m)	kg 148.6																											
鋼アーチ支保工	本 4.0m×4	耐力170kN以上																										
撤去工	kg 632.1																											
継手板・底板	kg 30.6																											
	  <p>正</p> <p>数量表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支保パターン</th> <th>DIIIa-A-K</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト工B (L=4.0m)</td> <td>本 4.0m×16</td> <td>再打設ロックボルト</td> </tr> <tr> <td>コンクリートT3-4 控除</td> <td>m³ 1.416</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材料表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支保パターン</th> <th>DIIIa-A-K</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補強フレート PL-200×22×2151</td> <td>m² 13.327</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックボルト工B (L=4.0m)</td> <td>kg 148.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼アーチ支保工</td> <td>本 4.0m×4</td> <td>耐力170kN以上</td> </tr> <tr> <td>撤去工</td> <td>kg 632.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>継手板・底板</td> <td>kg 30.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	支保パターン	DIIIa-A-K	摘要	ロックボルト工B (L=4.0m)	本 4.0m×16	再打設ロックボルト	コンクリートT3-4 控除	m ³ 1.416		支保パターン	DIIIa-A-K	摘要	補強フレート PL-200×22×2151	m ² 13.327		ロックボルト工B (L=4.0m)	kg 148.6		鋼アーチ支保工	本 4.0m×4	耐力170kN以上	撤去工	kg 632.1		継手板・底板	kg 30.6	
支保パターン	DIIIa-A-K	摘要																										
ロックボルト工B (L=4.0m)	本 4.0m×16	再打設ロックボルト																										
コンクリートT3-4 控除	m ³ 1.416																											
支保パターン	DIIIa-A-K	摘要																										
補強フレート PL-200×22×2151	m ² 13.327																											
ロックボルト工B (L=4.0m)	kg 148.6																											
鋼アーチ支保工	本 4.0m×4	耐力170kN以上																										
撤去工	kg 632.1																											
継手板・底板	kg 30.6																											

首都圏中央連絡自動車道 芝山工事

訂正箇所

金抜設計書

単価表

14.15頁

正誤区分

			正誤区分		
金抜設計書 単価表 14.15頁					
誤	1		11,870	m	
	165	8 - (3)	鉄筋 A	486.91	t
	166	8 - (3)	鉄筋 A (K)	24.38	t
	167	8 - (3)	鉄筋 A (T 1)	420.03	t
	168	8 - (3)	鉄筋 A (T 2)	228.26	t
	169	8 - (3)	鉄筋 B	289.31	t
	170	8 - (3)	鉄筋 C	62.57	t
	171	8 - (3)	鉄筋 Y	67.54	t
正	1		493.49	t	
	165	8 - (3)	鉄筋 A		
	166	8 - (3)	鉄筋 A (K)	22.19	t
	167	8 - (3)	鉄筋 A (T 1)	420.02	t
	168	8 - (3)	鉄筋 A (T 2)	226.74	t
	169	8 - (3)	鉄筋 B	291.51	t
	170	8 - (3)	鉄筋 C	61.40	t
	171	8 - (3)	鉄筋 Y	80.18	t